

TURN CHANGE



INTO



CHANGE

Futaba
COMPANY PROFILE





変化を味方にする力。

TURN CHANGE INTO CHANCE

真空管メーカーとしてスタートしたFutabaの歴史は変化の連続でした。

一つの技術が別の技術に置き換わっても、培ったノウハウは

新しい技術に生かすことで、さらに進化させることができる。

その信念のもと、近年では有機ELディスプレイをはじめ

ロボット、ドローン、AI/IoT技術にまで事業領域を広げてきました。

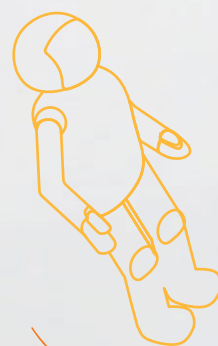
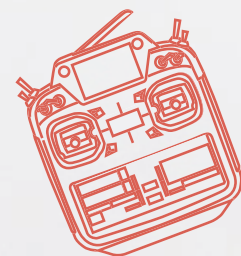
そこで大切にしてきたことは、本質を直視すること。

どれほどテクノロジーが変化しようとも、人や技術の本質を見極めることで、

社会、そして世界から本当に必要とされるものが見えてくる。

これからもFutabaは、変化を味方につけるために

日々、新しいチャレンジを続けていきます。



Futaba哲学

本質之直視

企業理念

私たちFutabaグループは
なくてはならない器材・サービスを創出し世界の発展に貢献します

企業ビジョン

Futabaテクノロジーを進化させ、
世界で躍進するリーディングカンパニーを目指します

行動規範

我々は、愚直なまでに本質を追求しお互いの喜びと感動を分かち合いながら
自由で豊かな発想のできる企業風土を構築するため、以下を実践します

1. スピードと意欲を持って挑戦します
2. 自らを高め、夢に向かって努力します
3. 真心と思いやりを持ち、人と人とのつながりを大切にします
4. 遵法精神と高い倫理観に基づき行動します
5. 自然を愛し、環境負荷の低減を通じて、地球の未来を守ります



ほかにはない、なくてはならない。

見えないところで社会を支えるFutaba



A たとえば 建設機械の操作で



建設機械や農業機械の遠隔操作でFutabaの無線リモコンが使用されています。

B たとえば 大型商業施設で



屋上のキュービクルに無線ユニットを設置し、使用電力量データなどを事務所等に無線で伝送。配線工事が不要になります。

C たとえば 医療機関の受付で



顔認証付カードリーダーでFutabaのディスプレイモジュールが活用されています。

D たとえばノートPCで



キーボードに有機ELディスプレイを搭載。ファンクションキーなどの設定情報を表示させることができます。

テクノロジー。

B 大型商業施設



F ラジコンカー・飛行機



D ノートPC



C 医療機関



G 電気自動車



E たとえば点検作業で



鉄塔や橋梁をはじめ設備の点検など、ドローンなら高所でも安全かつ効率の良い作業が可能です。

F たとえばラジコンカー・飛行機で



Futabaのカー用・空用プロポ(送信機)は世界中のマニアに愛用されています。

G たとえば電気自動車で



スマートフォンや電気自動車等、最先端の製品を作る工程でも、Futabaの金型用器材が役立っています。

H たとえば生産設備で



プラスチック部品を製造する工場では、Futabaの金型内計測システムが、不良品の選別に活用されています。



電子機器

これまで培った技術や信頼性をもとに、

電子機器分野におけるさまざまな製品・サービスを提供しています。

特に、ラジコンやドローンを自在に操る無線通信技術は、ホビー用途から産業用途まで幅広い分野で活躍しています。

■ 産業用無線機器

ICT建機、スマート農業の遠隔ソリューションに向けて、雨天等の過酷な作業環境での耐環境性と作業者が操作しやすいエルゴノミクス(人間工学)を考慮した無線リモコンを開発・展開。また、医療・FA分野でのIoT化に向けて、長距離・安定通信の無線モジュールと無線ゲートウェイを提供しています。



■ ディスプレイモジュール

TFT-LCDなどの表示デバイスにコントロール基板を組み合わせた、高い汎用性を持つディスプレイモジュールです。各種インターフェースに幅広く対応しています。



■ 受託開発(ODM)/受託製造(EMS)

無線・ディスプレイ技術を生かし、製品の開発・設計から製造・納品まで一貫した受託開発(ODM)と、お客さまの設計情報から製造する受託製造(EMS)を行なっています。



■ 有機ELディスプレイ

薄型・軽量な設計に加え、自発光による高コントラストで上質な表示を演出します。豊富なラインアップで、鮮やかなゲーミングデバイスからサウンドバーなどのシックな家電製品まで、さまざまな用途向けにご提案しています。





■ ホビー用ラジコン製品

双方向通信機能を搭載した高性能な送受信機やモジュール、高性能ジャイロなど、その性能の高さは世界中の競技会やレースで証明されています。



■ ロボティクス製品

強風や雨天などの環境下でも安定飛行を実現する産業用ドローン、耐久性・環境耐性に優れ豊富なラインアップを揃えたサーボモータを提供しています。



Futabaドローンスクール

国交省に認められた国家資格(無人航空機操縦者技能証明)を取得可能な登録講習機関であり、優れたプロ講師陣が少人数制で指導しています。





生産器材

金型用器材・プレート製品、成形工程の合理化を支援するモノづくりのパートナーとして、金型内計測システムをはじめとする他社に先駆けた技術で、プロセス改善、品質向上などの生産現場のニーズにお応えします。

■ 金型用器材・プレート製品

プレート製品、モールドベース、ダイセットなどの基礎器材は、「さまざまな加工内容」「高い部品精度」のニーズを満たすオーダーメイド加工へ柔軟に対応します。

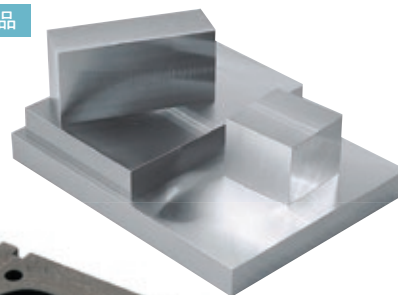
プレス金型用部品



モールド金型用部品



プレート製品



CFRPプレート(フェルカーボ)

製品や設備・装置の軽量化に寄与し、高精度加工を可能とするCFRP製の厚板材料です。

■ ホットランナシステム

金型内の樹脂流路を加熱することにより、樹脂の流動状態を維持できるため、スプレー・ランナが不要に。材料コストの削減や成形サイクルの短縮などに貢献します。





■ 金型内計測システム

金型内にセンサと専用アンプを設置することで、金型内における樹脂の挙動を信号に変換し、波形としてパソコンへリアルタイムで出力。数値化したデータによって、最適な成形条件の設定、不良品の自動選別、品質管理などさまざまな用途へ活用できます。



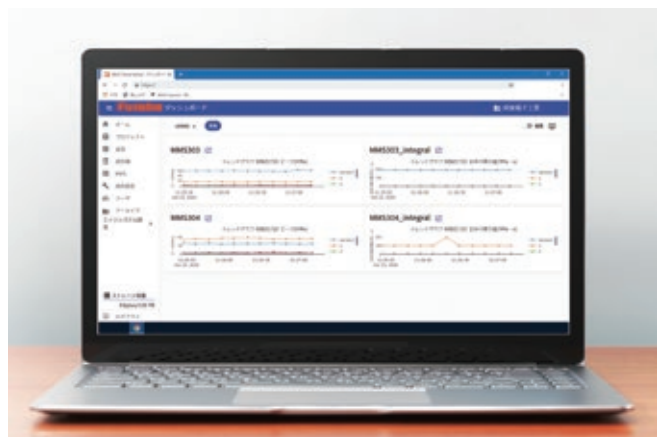
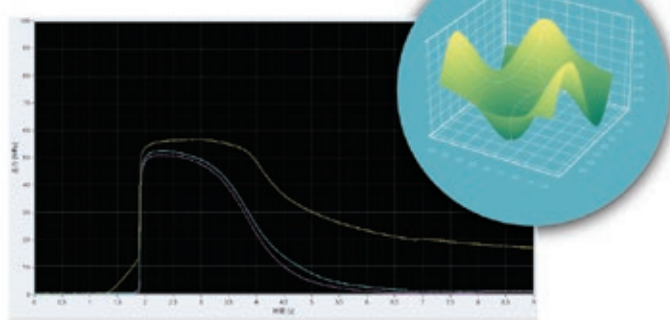
Futaba Sensing School

座学・実技を通して金型内センシングの基礎から応用までを学ぶことができます。



射出成形AIシステム

成形中の金型内状態をAIが学習し、成形品質の自動良否判定や良品を成形するための条件を提案することができます。



■ 工作機械 IoTモニタリングシステム

工作機械の稼働状況をどこからでもリアルタイムに監視することができます。また正確な稼働状況を把握、分析することで、稼働率向上に向けた改善が可能です。

SDGsの実践を通して
持続可能な社会の実現を目指す

サステナビリティへの 取り組み

SDGs・環境方針(基本方針)

当社は、商品・サービスの提供を通じて企業価値を高めつつ、
自然の営みを尊重し、次世代へ「負の遺産」を残さないよう、
環境負荷の低減に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。

詳しいサステナビリティの
取り組みはこちら

コーポレートレポート



サステナビリティマネジメント

気候変動とその影響に立ち向かうため、具体的な対策を協議・実践しています。

☑ SDGs 教育の推進

年間計画を策定してSDGs教育を開催。社員の環境意識の向上をはかっています。

☑ マネジメントレビューの実施

年2回のマネジメントレビューで目標達成の進捗確認や継続的改善のための審議を行なっています。



新入社員教育



環境に配慮した製品の取り組み

ライフサイクル全般にわたって、環境への影響を考慮した製品の開発・提供に取り組んでいます。

☑ CFRP製切削加工用厚板プレート 「フェルカーボ」

フェルト状の炭素繊維を用いたCFRP(炭素繊維強化プラスチック)を開発。軽い、
強い、錆びないなどの特徴を持つため、金属部品からの置き換えにより、高速可動
部品の軽量化や、運搬性向上などの効果が見込め、機械や作業者にかかる負荷の
低減や生産性の向上などに貢献します。

適用事例

サーボプレス機のセンタープレートを鉄からCFRPへ

効果

- ・消費電力:30%低減
 - ・CO₂削減効果:約196kg/年※
- ※サーボモータ消費電力750W、
1日8時間駆動、220日/年



CFRPプレート



低炭素社会への取り組み

エネルギー資源を効率的に利用し、事業活動における環境負荷の低減に努めています。

☑ 温室効果ガス排出量削減の取り組み

当社グループ全体のCO₂排出量を2013年度比で2030年に75%以上の削減を目指して取り
組んでいます。(2024年度は2013年度比で68.8%削減)

☑ 再生可能エネルギーの導入推進

低炭素社会の実現に向けた取り組みとして太陽光発電の導入を進めています。2023年には、
当社タイ工場で太陽光発電の使用を開始し、CO₂排出量の削減に寄与しています。



タイ工場への太陽光発電導入



再資源化の取り組み

有限な資源を有効利用するために、再資源化と省資源化に取り組んでいます。

✓ 再資源化率の向上

再資源化率99%以上を目標とし、ゼロエミッション実現を目指しています。
(2024年度：国内拠点の再資源化率99.9%、グループ全体の再資源化率96.5%)

✓ 分解・分別の徹底と廃棄物処理費の削減

樹脂類は5種類に分類、金属類は8種類に分類するなど、適切な分別により資源活用と天然資源使用の削減に取り組んでいます。細かく分別をすることで有価物処理の割合が高くなっており、廃棄物処理費削減につながっています。



分類された有価物（一部）

6 安全な水とトイレ
を世界中に15 陸の豊かさも
守ろう

生物多様性への取り組み

自然生態系に配慮して、自然環境との調和を目指した活動を行なっています。

✓ 湿生植物の保全活動

当社長生工場周辺の湿地帯はかつて日本でも有数の湿生植物の宝庫として知られていました。自生する湿生植物の一部は絶滅危惧種として指定されており、草刈りや外来植物の除去などを実施し、保全に取り組んでいます。現在までにコモウセンゴケ、イトヌノヒゲ、ミカワシシユガヤなど14種類の絶滅危惧種が確認されています。

✓ ミナミメダカの保護活動

湿地保全対策として設置された調整池には、絶滅危惧種であるミナミメダカが生息しており、アカミミガメやブラックバス、ソウギョなどの外来種からの保護と繁殖に取り組んでいます。
この保護活動を地域に広げていくことを目指し、地元の小学校と連携した取り組みも進めています。



ミカワシシユガヤ

イトヌノヒゲ

5 ジェンダー平等を
実現しよう10 人や国の不平等を
なくそう

人財への取り組み

多様な人財が働きがいをもって働き続けることができる環境を作ります。

✓ 働き方への取り組み

社員の出産・育児と仕事の両立を支える各種制度を拡充。育児休職後の復職率は100%で、男性社員の取得もあります。

✓ ダイバーシティの推進

社会に必要とされ続けるために、これまで以上に一人一人の特性を生かす組織を目指しています。また、生産性を高めるための業務改善に取り組むことで、性別を問わず安全に、質の高い仕事ができる環境づくりを目指しています。

4 質の高い教育を
みんなに11 住み続けられる
まちづくりを

社会貢献活動

コミュニティの一員として、地域の発展に貢献します。

✓ Futabaドローンスクールによる操縦者の育成

無人航空機産業の健全な発展のために、当社所属のインストラクターや社有する屋内・屋外飛行場を使用して定期的にドローンスクールを開催。全国から受講者が集まっています。

✓ 地域防火活動

特設消防隊を組織し、社内の消火活動だけでなく近隣の火災などにも出動しており、地域貢献の一環として地域防火活動の一翼を担っています。



ドローン実技講習

1948年

ラジオ受信用真空管の製造・販売を目的として、
双葉電子工業株式会社を設立（長生郡茂原町）
東京支店を設置し、真空管の販売を開始（東京・神田花田町）



創業時の工場

1961年

万世営業所を設置し、通信機・ラジコン機器・プラモデルの販売を開始

1962年

ホビーラジコン用送受信機の製造・販売を開始

1963年

ユニーク精工（株）を吸収合併して精機部を設置し、
プレス金型用器材の製造・販売を開始

1965年

省力機器の製造・販売を開始



カタログ
「ユニークダイセット」の表紙

1967年

モールド金型用器材の製造・販売を開始

1968年

表示放電管の製造・販売を開始し、
ディスプレイデバイス業界に進出

1969年

モールドプレートの製造・販売を開始

1980年

千葉県長生郡長南町に長南精機工場を設置し、
モールド金型用器材部門を移転

1985年

東京証券取引所第二部に新規上場
兵庫県明石市に明石精機工場を設置



株式上市記念式典

1986年

東京証券取引所第一部に指定替え

1987年

規格プレート製品をプレジジョンプレートに統合

1988年

起信精機（株）（韓国）を合併設立
（プレス・モールド金型用器材の製造・販売）

1980年代



~1960年代

1970年代

1970年

丸形単管蛍光表示管の製造・販売を開始
モールドベース組立セット品を規格・標準化し販売を開始



モールド金型用器材
（モールドベース）

1972年

台湾双葉電子股份有限公司を設立（蛍光表示管の製造）

1973年

本社を現在地の茂原市大芝629番地に移転
米国に販売会社FUTABA industries U.S.A.を設立
（1978年 FUTABA Corp. of Americaに社名変更）

1975年

東南アジアにおける販売拠点として富得巴（香港）有限公司を設立

1979年

ヨーロッパにおける販売拠点として
FUTABA (Europe) GmbH（ドイツ）を設立



2001年

MMSが「第43回十大新製品賞」(日刊工業新聞社)を当社製品として初受賞
富得巴国際貿易(上海)有限公司(中国)を設立(電子部品の販売)
FUTABA (Vietnam) Co., Ltd. (ベトナム)を設立(モールド金型用パーツの製造)

2002年

双葉電子科技開発(北京)有限公司(中国)を合併設立(ラジコン機器の販売)

2003年

双葉電子部品(惠州)有限公司(中国)を設立(電子部品の製造・販売)

2005年

双葉精密模具(中国)有限公司を設立(プレス・モールド金型用器材の製造・販売)

2006年

岩手県釜石市に双葉精密(株)を設立(モールド金型用器材の製造)

2008年

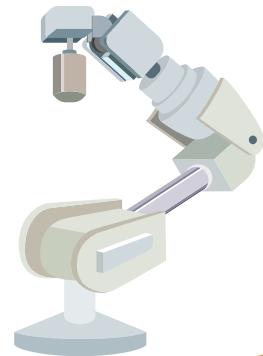
(株)サツキ製作所およびサツキ機材(株)を子会社化し、
金型用器材の強化をはかる
(2009年(株)サツキ製作所がサツキ機材(株)を
吸収合併し、サツキ機材(株)に社名変更)

2009年

双葉電子部品韓国(株)を設立(電子部品の販売)
TDKマイクロデバイス(株)の株式を取得し、
有機ELディスプレイ事業への新規参入をはかる



フィルム有機ELディスプレイ



2020年～

2010年代

2000年代

2010年

双葉電子科技開発(北京)有限公司の100%子会社化

2011年

タッチパネルの製造・販売を開始



タッチセンサー

2012年

TDKマイクロデバイス(株)を100%子会社化
社名を双葉モバイルディスプレイ(株)に変更し、
有機EL事業を加速化

2014年

金型内樹脂用流速計測システムが
「第56回十大新製品賞」(日刊工業新聞社)受賞

2016年

フィルム有機ELディスプレイが
「第58回十大新製品賞モノづくり賞」(日刊工業新聞社)受賞
Futabaドローンスクールを長生工場内に開校

2017年

(株)カブクを子会社化
東京セールスオフィスを設置
(電子デバイス関連の販売)

kab_{ku}

2018年

創立70周年
セントラル電子制御(株)をグループ化

1990年

フタバビジネスシステム(株)を設立

1991年

FUTABA DENSHI Corp. (S) Pte.Ltd. (シンガポール)を
設立(電子部品の販売)

1993年

小川精機(株)を子会社化し、
ホビー市場での多角化をはかる

1994年

富得巴精模(深圳)有限公司(中国)を
設立(モールド金型用器材の製造)

1995年

FUTABA Corp. of The Philippines (フィリピン)を
設立(蛍光表示管の製造)

1996年

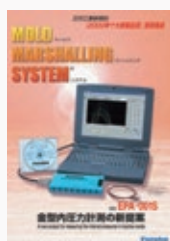
FUTABA JTW (Thailand) Ltd. (タイ)を設立
(プレス・モールド金型用器材の製造・販売)



(左) 小川精機(株)製
模用エンジン
(右) 当社製送信機

1999年

モールドマーシャリングシステム
(MMS)を発売



MMS

NETWORK

■ 本社 ■ 電子機器 ■ 生産器材



世界に広がるFutabaテクノロジー。
世界のFutabaグループがお客をサポートいたします。

Japan



【国内拠点一覧】

■ 本社

【研究開発】

■ コア技術開発センター

【設計・開発・製造・営業・サービス等】

- システムソリューション事業センター
- ロボティクスソリューション事業センター
- ラジコンカスタマーサービス
- 精機事業センター
- 長南精機工場

【営業・サービス等】

- 仙台出張所
- 東京営業所
- 東京セールスオフィス
- 岡谷出張所
- 浜松出張所
- 名古屋営業所
- 関西営業所
- 大阪セールスオフィス
- 広島出張所
- 九州出張所

【国内関係会社】

- 双葉精密株式会社
- サツキ機材株式会社
- 株式会社カブク
- セントラル電子制御株式会社
- 小川精機株式会社
- フタバビジネスシステム株式会社

Global



【海外拠点一覧】

FUTABA Corporation of America

フタバ・コーポレーション・オブ・アメリカ

■ Chicago Office

■ Huntsville Office

■ FUTABA (Europe) GmbH

フタバ(ヨーロッパ)ゲー・エム・ペー・ハー

■ FUTABA CORPORATION Germany Representative office

欧州駐在所

■ FUTABA PRECISION MOULD (Shenzhen) Corporation, Ltd.

富得巴精模(深圳)有限公司

■ FUTABA Corporation of Huizhou

双葉電子部品(惠州)有限公司

■ FUTABA ELECTRONICS (Beijing) Co., Ltd.

双葉電子科技開発(北京)有限公司

■ FUTABA INTERNATIONAL TRADING (Shanghai) Co., Ltd.

富得巴国際貿易(上海)有限公司

■ FUTABA (Hong Kong) Corporation, Ltd.

富得巴(香港)有限公司

■ TAIWAN FUTABA ELECTRONICS Corporation

台湾双葉電子股份有限公司

■ FUTABA ELECTRONICS COMPONENTS KOREA Co., Ltd.

双葉電子部品韓国株式会社

■ KISHIN Corporation

起信精機株式会社

■ KISHIN MEGATEC Co., Ltd.

起信メガテック株式会社

■ WONJIN PRECISION Co., Ltd.

株式会社原振精工

■ FUTABA JTW (Thailand) Ltd.

フタバ・ジェイ・ティ・ダブルユー(タイランド)リミテッド

■ FUTABA (Vietnam) Co., Ltd.

フタバ(ベトナム)カンパニー・リミテッド

■ KISHIN VIETNAM Co., Ltd.

キシン・ベトナム・カンパニー・リミテッド

COMPANY PROFILE

商号	双葉電子工業株式会社 (FUTABA CORPORATION)
所在地	千葉県茂原市大芝629
電話番号	0475-24-1111 (大代表)
設立	1948年(昭和23年)2月3日
資本金	225億5千8百万円
上場市場	東京証券取引所 プライム市場
事業内容	各種電子部品・無線機器・生産器材の設計、開発、製造および販売 ※代表的な製品 複合モジュール、産業用ラジコン機器、ホビー用ラジコン機器、ロボティクス製品、有機ELディスプレイ、プレート製品、金型用器材、成形・生産合理化機器 等
売上高	【連結】481億1千6百万円(2025年3月実績)
従業員数	【連結】2,534名 【単独】688名(2025年3月31日現在)

役員

代表取締役	有馬 資明
取締役	君塚 俊秀
取締役	富田 正晴
取締役	※國尾 武光
取締役	※田中 雅子
取締役(常勤監査等委員)	※大村 直司
取締役(常勤監査等委員)	池田 達也
取締役(監査等委員)	※石原 昭広

(2025年6月27日現在)
※社外取締役

INFORMATION



双葉電子工業ウェブサイト
<https://www.futaba.co.jp/>

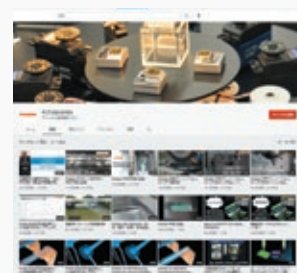
X(総合アカウント)
<https://x.com/futaba6986>

製品情報、開示情報、採用、IR情報など



Facebook
<https://www.facebook.com/FutabaRC/>
X
https://x.com/FutabaRC_JP

新製品情報や製品アップデートのお知らせ
イベント・大会の告知
当社社員、サポート選手の活動報告など

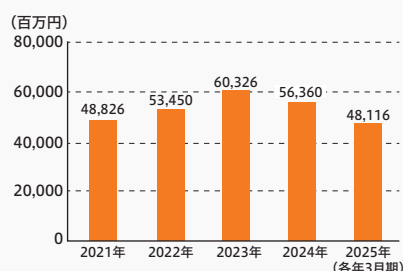


Youtube
<https://www.youtube.com/user/FUTABA6986/videos>
連結決算説明、製品紹介、
長生工場の自然紹介

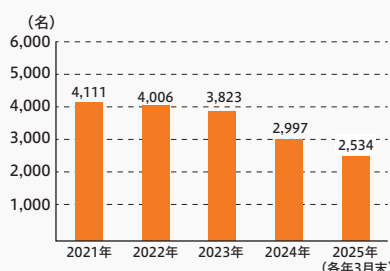


DATA

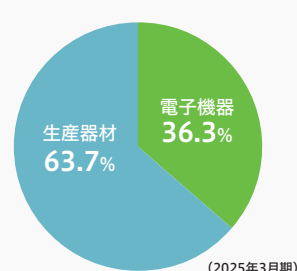
売上高の推移(連結)



従業員数の推移(連結)



部門別売上構成(連結)



双葉電子工業株式会社
<https://www.futaba.co.jp/>

